

つきのわ こふん こだい れき し まな
19 月輪古墳で古代の歴史を学ぶみち



主な見どころ



八幡神社
 祭神は、天照大神と應神天皇の別名誉田別命と、天照大神を天岩屋から招いたと言われる大兒屋根命である。現在の社殿は昭和12年に新築されたものである。



本経寺
 この寺は、はじめ各宗派が入り交っていたが、明応5年(1496)日扇上人により法華宗に改宗され桂昌寺といわれた後、本門本経寺と改められた。その後、京都妙満寺の末寺となり本経寺として建立された。(県指定重要文化財)

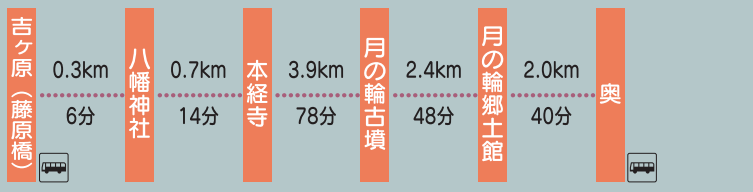


月の輪古墳
 5世紀初めのもので推定される直径約60m高さ10mの大型円墳で、葺石と3段の埴輪列があった。墳頂の平らな中央部には方形区画があり、中央直下には中央棺があって老年の男性遺体に鏡、玉類の他多くの武具が副葬されていた。



月の輪郷土館
 この郷土館は柵原町立の考古館で、月の輪古墳の発掘を記念して造られた。月の輪古墳の出土品を中心に柵原町内の遺物を含めて約2,000点を収蔵し、主なものを展示して無料で公開している。

コース案内



■1日コース延長9.3km
 ■時間3時間6分